

学校法人濱名山手学院 認定こども園 関西国際大学附属 難波愛の園幼稚園 教育(保育)課程

教(育)事業(保育)運営(方針)理念	建学の精神「以愛為園」(愛を以て園と為す)	人間愛を育む学園であることをめざし、子どもたちには他者に対する思いやりを、教職員には教育力あふれる学園づくりを求め、濱名学院全体の建学の精神として継承しています。	教育(保育)目標	『健やかな心と身体の子どもに』	学(年)別(年)教育(重点)目標	5歳児	様々な物事に興味・関心を持って主体的に共同的に遊びを進めていく
		一人一人の子どもによりそい、その子らしさを育てます。 一人一人の子どもにいていねいに関わり信頼関係を築きます。 一人一人をまるごと受け入れ自分らしさや可能性を存分に出す充実した生活を通し自信(自己肯定感)を育てます。 家庭とのつながりを大切に、きめ細やかな子育ての支援をします。		(あ) 相手のことを考え、思いやりの気持ちを持つ子ども (い) 命を大切に子ども (の) ノーと言える勇気を持つ子ども (そ) 創造性豊かな子ども (の) のびのび遊び、意欲をもって活動する子ども		4歳児	身近な人やものに愛情を持って関わり、いろいろな経験をもとに意欲的に取り組む
						3歳児	遊びや生活の中で、自分の思いを伝えたり表現したりしながら、友達と関わる
						2歳児(満3歳児)	身近な人に親しみ、自分の要求や思いを十分に出して生活する
						1歳児	愛情をたっぷり受けながら、自我を豊かに育て、安心して過ごす。
特色ある教育と保育	ピオトープを柱とした環境学習・教育(保育)の取り組みを実施する			教育・保育時間等	◎1号認定:基本保育時間 9:00~14:30 ※預かり保育 7:30~9:00、14:30~18:30 ◎2、3号認定:基本保育時間 7:30~18:30 ※延長保育時間 18:30~19:00		

		1歳児	2歳児(満3歳児)	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
養護(保育教諭が行う事項)	生命の保持(生活習慣)	生活リズムの形成を促す	適度な運動と休息の充足	健康的な生活習慣の形成	運動と休息のバランスと調和を図る	健康・安全への意識の向上	
	情緒の安定	温かなやりとりによる心の安定	自我の育ちへの受容と共感	主体性の育成	自己肯定感の確立と他者の受容	心身の調和と安定により自信を持つ	
(子どもが環境に関わって経験する事項)	健康	歩行の確立による行動範囲の拡大	・排泄の確立 ・運動、指先の機能の発達	・意欲的な運動活動 ・基本的な生活習慣の確立	・健康への関心 ・身体全体の協応運動	・健康増進とさらなる挑戦への意欲 ・安全で安定感のある行動	①健康な心と体
	人間関係	周囲の人への興味・関心の広がり	・自己主張の表出 ・友達との関わりが増大 ・思い通りにならないことへの葛藤体験	・自分でしようとする意欲 ・道徳性の芽生えと並行遊びの充実	・仲間との深いつながり ・相手の思いへの気付き	・社会性の確立と自立心の育成 ・友達と思いの共有、協同	②自立心 ③協同性
	環境	身近な環境、自然事象への好奇心の高まり	・自然事象への積極的な関わり ・自然の大きさ、美しさ、不思議さへの気付き	・身近な環境(自然事象、動植物、物、)への積極的な関わり	・社会、自然事象への関心の高まり ・物を使い工夫して遊ぶ楽しさ	・社会、自然事象へのさらなる関心と生活、遊びへの取り入れ ・物の性質や仕組みへの興味と関心 ・数量、図形、文字への関心	④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
	言葉	言葉の獲得、話し始め	・言葉のやり取りの楽しさ ・日常の挨拶への親しみ	・言葉の美しさ、楽しさへの気付き ・生活の中での必要な言葉の理解と使用	・伝える力、聞く力の獲得 ・絵本や物語への親しみ	・文字や数字の獲得による遊びの発展 ・体験によるイメージや言葉の広がり	⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり、生命尊重
	表現	・身近な素材感触を楽しむ ・象徴機能の発達	・象徴機能のさらなる発達とイメージのふくらみ ・音、色、形、手触り、動きを感じる楽しさ	・音楽、絵画、造形への親しみの育み ・感動体験を伝え合う楽しさ ・簡単なリズム打ちの習得	・自由な表現と豊かな感性の育ち ・心を動かす出来事による想像力と感性の獲得 ・基本的なリズム打ちの習得と、簡単な合奏の完成	・ダイナミックな表現 ・体験を通じた表現と感動の共有 ・音楽表現における全体への調和への意識付け	⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現
食育	食を営む力の基礎	いろいろな食材や味に親しみ、食べることを楽しむ	意欲的に食べようとする	・いろいろな食材や味に親しみ、みんなで一緒に食べることを楽しむ ・基本的な食事マナーを身に付ける	・好き嫌いなくバランスよく食べる ・大切に気付き ・食具を正しく使い、食事マナーを身に付ける	・食事内容に興味を持ち身体・食物との関係を知る ・食事を作ってくれる人への感謝の気持ちを持つ	
異年齢保育		人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼する気持ちなどの豊かな心を育てる		年上の友達との関わりの中で、様々な活動に興味を持つ	年上の友達との関わりを通して、興味・関心を広げたり、憧れの気持ちを持つ	年長児としての自信を持ち、年下の友達への親しみや、思いやりの気持ちを持つ	<小学校との連携・接続> ・幼小連絡会(5歳児担任と小1担任) ・小学校探検 ・幼児指導要録抄本送付
進級・就学への接続		月齢差を考慮した関わりと、見通しを持って子どもと接することで、子どもの育ちを保障し、一人ひとりの発育、発達状態の把握に努める。	進級児と新入園児との懸隔をできるだけ埋めるように、基本的な生活習慣の確立と集団生活の中でのきまりや他児との関わりを促す。	5歳児の様子を見る機会や共に活動する機会を増やし、子ども達の積極的な表現活動を促すようにする。	・就学に向けて認知活動と共に非認知活動を深め、自立と協同を意識して保育を展開する。 ・アプローチカリキュラムの取り入れ		
主な行事	・入園式 ・愛の園夏まつり ・お泊まり保育 ・運動会 ・クリスマス会 ・もちつき会 ・生活発表会 ・お別れ会 ・卒園式 ・保育参観 ・オープンデー ・園外保育 ・誕生会 ・年中行事(こどもの日、七夕、お月見、節分、ひなまつり)						

その他の取り組み							
自己評価	◎認定こども園の評価(教育目標等を実現するために必要な目標や計画の取り組み状況等を評価)	研修計画	◎教員の資質・保育力向上のための園外・園内研修会 ◎公開保育、他園見学への積極的な参加 ◎特別支援教育研修会(支援方法・ケース会議) ◎研修報告会	健康支援	◎健康・発育・発達状態の把握と健康増進 ◎嘱託医による検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科) ◎登園時及び保育中の健康状態の観察、また、異常が認められた時の適切な対応 ◎年1回職員の健康診断		
環境・衛生管理	◎施設内外の設備・用具等の清掃、消毒、安全管理及び自主点検 ◎子ども及び職員の清潔保持 ◎感染予防への対応と保護者との情報共有	安全対策・事故防止	◎毎月避難訓練(火災、地震、不審者対応) ◎消防署査察 ◎救命救急講習 ◎消防設備点検 ◎消火訓練 ◎施設内外の設備・用具等の安全点検	保護者・地域への支援	◎保育の説明責任(参観日・懇談会開催、ブログによる発信、園だより等の配布) ◎キンダーカウンセラーによる育児相談事業の開催 ◎未就学児対象の子育て支援プログラム、園庭・施設開放 ◎預かり保育 ◎実習生及び中高生保育体験の受け入れ		